

インディードゥアイガン ຍິນດີກັບກັນ

...so that may be glad together. (John 3:16)

YDは、タイ語で「ともに喜びのため」を意味する単語の頭文字です
タイ王国チェンマイ日本語キリスト教会を通してのタイ宣教

YD ミニストリー ニュースレター # 11

2020年 夏号



「さあ、主の家に行こう。」人々が私にそう言ったとき 私は喜んだ。
詩篇 122:1

豪雨災害と感染拡大の中、祈りの内に礼拝と宣教の在り方を模索する日本の諸教会に祈りを合わせます。

タイは、2014年のクーデターから5年の軍事政権を経て、昨年、民政移管選挙が行われました。しかし、政変を主導した陸軍司令官が首相となったため、軍政が色濃い現状です。このことは、今回の新型ウィルス対策において、3月下旬からの非常事態宣言下、都市封鎖を可能にしました。非常事態宣言は8月も継続されており、反軍政集会などは活発化しています。それでも、国内での新規感染は2か月にわたり見られないため、国内での様々な緩和は進んでいます。日本語教会も、感染予防を徹底しつつも6月から有志が会堂に集まってともにオンライン礼拝を献げ、7月から会堂での礼拝を再開。8月からは聖餐式を再開することができています。

しかし、非常事態宣言下で職を失った人々は多く、800万人以上の失業者が予測されています。現地採用の日本人労働者にも、その波紋は広がっており、長年住んだタイの地を離れる方々も増えているようです。今後、犯罪の増加も懸念されていますが、自死や犯罪から人々を守ろうとする動きも教会内外で進んでいます。

タイの各地に置かれるようになった無料提供用食品庫は、アメリカの教会の取り組みが参考になったそうです。志のある人々によって食品や水が入れられ、必要な方々が持ち帰ることができます。日本語教会が会堂をお借りしている中国系タイ人教会でも、様々な取り組みがなされています。教会内の生活困窮者がパパイヤなどを販売できるスペースを提供したり、定期的に地域の方々に食料品とともに福音を届けています。日本語教会では、それぞれが個人的に、これらの働きに協力しています。

ペンテコステには礼拝再開に先駆けて、タイで育った16歳の日本人青年が受洗の恵みにあずかりました。洗礼の様子は動画で共有され、礼拝再開後に愛餐会を持って祝福することができました。閉塞的な生活が長期にわたって続く中にも、変わる事のない主の救いのみわざを確かめ合うことができ、とても感謝でした。

タイは10月まで続く雨季まっただ中。湿度95%という日も多いですが、虹が美しい季節でもあります。主は常に良きお方であることを覚えます。

郵便局の国際便も再開しない中、お手紙でのご挨拶もままならない状況が今しばらく続きそうです。もしZoomなどによるオンラインでのデブテーションなどのご希望がありましたら、ぜひお声がけください。



各所に置かれた無料提供用食糧庫



洗礼式



会堂での礼拝再開

< 祈禱課題 >

- ・制限付きながらも集会・面会が再開した教会、高齢者施設、刑務所の方々の心身・霊肉が守られ、交わりが深められるように
- ・経済危機の中で自死や犯罪の増加が懸念されています。希望を失いかけている多くの方々に支援と福音が届くように
- ・礼拝参加自粛中の方々の霊性の守りと求道中の方々の導きのために

< 支援窓口 >

YD ミニストリー支援会 郵便振替 00870-6-154230

支援会お問合せ先 shimoyamada@mishimagrace.com

電話 Fax 055-989-7802

ホームページ <http://www.yd-ministry.christian.jp/>

(「YD ミニストリー」で ご検索いただいても ご覧いただけます)

日本同盟基督教団事務所 郵便振替 00120-5-142886

(事務所宛の献金は「長谷部愛実への指定献金」とご明記ください)